



11月号

2014年

月	火	水	木	金	土	日
10/27 	10/28 	10/29 	10/30 	10/31 	1 ◆作文倶楽部 土曜日クラス ◇第11回 SST 年中セミナー	2 
3 	4	5	6	7	8 ◆作文倶楽部 土曜日クラス	9 
10 	11	12	13	14	15 ◆作文倶楽部 土曜日クラス ◇第12回 SST 年中セミナー	16 
17 	18	19	20	21	22 ◆作文倶楽部 土曜日クラス	23 
24 	25	26	27	28	29 地球応援団！COSMOS Act.6 “JAPAN マイスター ～超絶！日本の妻ワザ～”	30

★10月25日(土)から31日(金)までのSST・SSK・作文倶楽部の通常授業はお休みです。



は、休塾日です。

お問い合わせ

月	火	水	木	金	土	日
10/27 	10/28 	10/29 	10/30 	10/31 	1 ★キッズラボ 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス ●作文倶楽部 月2回クラス	2 
3 	4	5	6	7	8 ☆キッズラボ 月1回クラス ◆SST年長 土曜日クラス	9 ☆キッズラボ 月1回クラス
10 	11	12	13	14	15 ◆SST年長 土曜日クラス	16 
17 	18	19	20	21	22 ★キッズラボ 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス ●作文倶楽部 月2回クラス	23 
24 	25	26	27	28	29	30 地球応援団！COSMOS Act.6 “JAPAN マイスター ～超絶！日本の妻ワザ～”

- ★10月26日(日)から31日(金)までの
SST・SSK・作文倶楽部・キッズラボの通常授業はお休みです。
- ★11月25日(火)から28日(金)までの
キッズラボ平日クラスの授業はお休みです。



は、休塾日です。

お問い合わせ

11月のご案内

冬期特別講座のご案内

2014年もあと2ヶ月となり、冬休みも迫ってきました。今年も冬のシーガルスクールは、SSKウィンタースクール、キッズラボクリスマスセミナーなど様々な講座を企画しています。シーガルスクールの特別講座で、新学年目の今だからこそ成長に磨きをかけてみませんか？

☆冬期特別講座：

- ・SSK・作文倶楽部ウィンタースクール（年長～小3対象）
- ・キッズラボクリスマスセミナー（小1～小6対象）
低学年「消せるボールペンの真実」
高学年「ラボたまくとゴールド工場～錬金術～」
- ・野外イベント（小1～小4対象）

☆詳細は11月中旬より配布いたします案内をご覧ください。

☆スクール生以外のお友達も一緒に参加していただけますので、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。



シーガル読書マラソン 2014 秋大会

10月13日にスタートした『シーガル読書マラソン 2014 秋大会』。今回は、シーガルスクールのスタッフが選んだ『おすすめBOOK』を2ヶ月間で8冊読破することを目標にしています。また、ただ読むだけでなく、その『おすすめBOOK』の感想カードを書くことにも挑戦。自分が読んで面白かったところや、みんなに伝えたいことを文章にし、スクールに掲示していきます。上手に書けた感想カードには、ポイントがつき、そのポイントをクラスみんなで集め、シーガルナンバー1クラスを目指します。

なかなか一人では進んで本を手にとらない子や、じっくり本と向き合えない子も、この読書マラソンが、読書を楽しむ機会となることでしょう。

※期間中は『おすすめBOOK』1冊とその他の本1冊の計2冊が貸し出し可能です。



スクールからのおねがい

シーガルスクールでは、平日(火～金)：17:00～19:00は授業中のため、お電話に出ることが出来ません。当日の欠席・遅刻連絡などは、この時間までにご連絡いただけますよう、お願いいたします。



よし！みんなで読書をしよう

日に日に秋が深まる季節となり、澄みきった青空に秋を感じます。秋といえば、芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋などと良く言われますが、シーガルスクールでは読書の秋ということで、毎年恒例ではありますが『シーガル読書マラソン』を10月13日より開始しました。今回はいつもと違った読書マラソンを子どもたちも楽しんでくれているようです。（詳しくは、左面の「シーガル読書マラソン 2014 秋大会」をご覧ください）

さて唐突ではありますが、読書はなぜ大切なのでしょう？それは、国語力を養うため。つまり言語能力を高めるためには、日常会話やテレビでは限界があり、そこで重要になるものが読書なのです。「すべての教科の基礎となるものは国語力」と良く言われています。それは、全ての学習は言葉を通して行われているからです。国語力とは、語彙力、読解力、書く力、聞く力、話す力から成ります。特にその中でも、語彙力は他の力においても基礎、土台になります。そして、その語彙力を増やすには、読書が一番と言えるでしょう。

確かに「読書が大切」という事は誰しもが知っていることです。ですが、正直読書が好きの人ばかりとは限りません。でも、少なくとも子どもたちには本を読んでほしいと願う方も多いのではないのでしょうか。では、どうしたら本が好きになってくれるのでしょうか。

一番大切なことは、「読書は楽しい！」と子どもたちの心に染み込ませることです。そのスタートは、読み聞かせです。誰かに読み聞かせしてもらっているとき、子どもはその人の温もりに包まれ、幸せな気持ちになります。自分のために読んでくれているという実感と本の楽しみがひとつの記憶としてつながることで、「本っていいな」「読書は楽しいんだな」と思えるようになります。つまり、「読書＝字がたくさんで大変」という記憶ではなく、「本＝幸せ、楽しい」という記憶が読書好きへの道へ繋がるのです。

また、一日10分程度でも良いので家族での読書タイムをつくってはいかがでしょうか。わずか10分でも家族みんなでお母さんと一緒に、本と向かう時間を作ることによって、読書の習慣がつくのです。そして、そこから自然に読書が共通な話題となり、読書がより生活の中に自然と溶け込んでくるのです。

本はたくさん読めば、読んだだけ国語力が身に着くのかというと、実はそうではありません。大切なことは、読書を通して人と人が会話し、他人の意見に触れ、自ら考えること。もしかしたら、読書は一人でするものではないのかもしれませんが、是非、家族のみなさんと読書の秋を楽しんではいかがでしょうか。

